

テーマ分野：安全

減災への一歩

～被害を抑える初動対応の実現に向けて～

サークルリーダー 上野 さん

サークルメンバー

サークル

減災への一歩

～被害を抑える初動対応の実現に向けて～

サークルリーダー 入社：4年目 島津

総員16名

登録No. 177-2038

活動期間 R6.10～R7.3

活動回数 60分×12回

1/23

皆さんこんにちは。

サービスパーツ物流部、大口管理課、なかよしサークルチームリーダーの島津です。

ただいまからテーマ「減災への一歩～被害を抑える初動対応の実現に向けて～」を発表します。

2. サークル紹介

【サークル構成】

若手主体のサークル

【サークルレベル】

【能力レベル】

関係部署連帯 知識向上意欲

3/23

【サークル紹介】 私たちなかよしサークルは、若手主体のサークルです。若手ならではの行動力と柔軟な発想を強みとして、日々の改善活動に取り組んでいます。一方で、サークルレベル評価ではBゾーンに近いCゾーンという結果であり、まだまだ成長の途中にあります。

特に能力レベルでは、「関係部署連帯」「知識向上意欲」「QC手法」の3項目が弱みとして見えていました。そこで今回の活動では、単に防災対策を進めるだけではなく、「様々な部署と連携すること」「社内上下のやりとること」「QC手法を活用しながら進めること」を意識し、サークルとしての成長にもつながりたいと考えました

4. テーマ選定 ～活動計画～

【QCストーリーの選定】

【活動計画】

活動スケジュール	担当	10月	11月	12月	1月	2月	3月
テーマ選定	全員	完了					
攻め所と目標設定	島津・日沖	完了					
方策の立案	全員	完了					
成功シナリオの追求と実施	全員	完了					
効果の確認	全員	完了					
標準化と管理の定着	全員	完了					
反省と今後の進め方	島津・日沖	完了					

5/23

1. 職場紹介 ～トヨタ自動車 サービスパーツ部～

【サービスパーツ部とは】

- ・全世界保有台数 1.5億万台
- ・サービスパーツ部の役割
- ・社会貢献！

需要がある限り供給を継続

2/23

3. テーマ選定

【取り組み背景～2024.10.28実際の避難体験～】

【現状の問題点を洗い出し評価】

NO	項目	重要度	緊急度	拡大傾向	評価	現状
1	地震発生時における被害を抑える初動対応の実現	◎	◎	◎	◎	1
2	被害を抑える初動対応の実現	◎	△	○	◎	6
3	被害を抑える初動対応の実現	◎	○	○	◎	7

【重要度】 大リスク区分

【緊急度】 初動対応への不安感

【拡大傾向】 現場の入れ替わり

4/23

【テーマ選定】 実際に避難を経験した際、メンバーからは「どこへ避難したらよいのか迷った」「大きな地震が来たら対応できるか不安」といった声が多く聞かれました。私たちは普段、有事の場面に具体的に想像する機会はありません。だからこそ、災害が発生してから慌てるのではなく、平常時から備えることが重要であると考えました。だからこそ、議論を重ねた結果、重要度では、災害時初動が大切であるとされており、備える重要なテーマであること。緊急度では、初動対応への不安から、パニックになり被害拡大の恐れがあること。拡大傾向では、人の入れ替わりにより被害リスク拡大の恐れがあることから単なる設備改善ではなく、職場全体を巻き込んで意識改革につながらねる「チャレンジテーマ」として本活動に取り組むことを決定しました。

5. 攻め所と目標設定 ～現状把握～

【初動対応レベル調査】

現状をレベル把握したい

レベル評価基準はあるのかな？

評価基準は定められていない...でも評価をしたい！

自分たちで作ってみよう！

【初動対応レベル評価基準】

評価項目	評価基準	現状
避難環境	避難経路が明確に示されているか	◎
設備・資材	避難用資材が適切に配置されているか	◎
BCP(多職工)	BCPが作成されているか	◎
人的対応	避難時の対応が適切に行われているか	◎
訓練	避難訓練が定期的に行われているか	◎

【評価基準】

- 5.十分に実施されており、問題はない
- 4.ほぼ問題はないが、細かな改善点あり
- 3.標準的な実施状況だが、改善の余地がある
- 2.大きな問題があり、改善が必要
- 1.実施が不十分・早急な対策が必要

大口現場の現状把握★

みんなで力を合わせて評価基準を作れた！

6/23

QCストーリーは課題先取りへの対応テーマとして、課題達成型ストーリーに決定。

活動スケジュールはこのような進めしました。

攻め所と目標設定、改善活動を進めるにあたり、「現在の自職場の防災レベル」を把握する必要があると考えました。しかし現時点では初動対応力を客観的に評価するための明確な基準が見当たらなかったことです。このままでは改善前後の比較ができず、本当に効果がなかったのか判断することができません。そこで私たちは、「なにか自分たちでやるよ」というテーマのもと、サークル独自の初動対応レベル評価基準の作成に挑戦しました。評価項目を検討する中で、メンバー同士で何度も話し合いを重ねた結果、こちらの5項目を評価軸として設定しました。避難経路や設備が整っていない、人が動かなければ意味がありません。逆に人の意識が高くて、設備や環境が整っていなければ被害を防ぐことはできません。初動対応は、「環境・設備・人・訓練」のすべてが揃って初めて機能すると考えられます。こうして完成した独自の評価基準を用いて現状調査を実施し、自職場の強みと弱みを見える化しまし

ＱＣサークル紹介	サークル名（フリガナ）		発表形式
	なかよし サークル	（ ナカヨシ ）	プロジェクト
本部登録番号		サークル結成年月	2021 年 4 月
メンバー構成	16 名	会合は就業時間	（内）・外・両方
平均年齢	29 歳（最高 55 歳、最低 18 歳）	月あたりの会合回数	4 回
テーマ暦	本テーマで 件目 社外発表 件目	1 回あたりの会合時間	1 時間
本テーマの活動期間	2024 年 10 月 ～ 2025 年 3 月	本テーマの会合回数	12 回
発表者の所属	サービスパーツ部 大口管理課		勤続 4 年

7. シナリオの実施 ～人的対応～ 15/23

【実施対策】

対策7：防災啓発活動

対策8：タッチアンドコールの実施

【防災啓発動画視聴】

総務部HPにある
啓発動画(17分26秒)

防災意識向上！

防災意識の重要性

自分の身は自分で守る

自分事化できていない

対策7：防災啓発活動

現状

自分事化させよう！

対策8：タッチアンドコールの実施

防災の日常化！
訓練だけにしない

タッチアンドコール表作成

防災タッチアンドコール

1回/週 各組実施

日常業務に防災を取り入れよう

ベンチマーク活用

対策完了

人的対応のシナリオ実施。

実施対策は二つ。まず一つ目の対策は、防災の啓発活動です。

防災を自分事化できていない現状に対し、総務部ホームページにある啓発動画視聴を実施。

メンバーから防災意識向上の声を聞くことができました。二つ目の対策、タッチアンドコールの実践。

継続的な取り組みの重要性を堤工場：考動館でのベンチマークで学び、防災タッチアンドコール表を作成。日々の防災意識を継続できるようにしました。

7. シナリオの実施 ～横展活動②～ 17/23

【ポスター追加対策】

中国語とベトナム語が必要！

読み仮名が欲しい！
補足説明もあるといいな

すべての方に分かりやすいポスターへ改良

読み仮名・補足追加と多言語化実施

不安感をなくしパニック防止！

【非常口追加対策】

すぐに階段があり危ない！

開け方が分からない！

環境にあった追加対策でパニック防止

イラスト表示追加と注意喚起実施

環境と人あった対策もしよう！

協力会社さんの意見をもとに

防災ポスターでは、読み仮名・補足の追加と多言語化を実施。

より良いポスターへ改良しました。

非常口には、扉を開けるとすぐに階段があるという環境の注意喚起と誰でもすぐ開けられるよう、表示を作成しました。

7. シナリオの実施 ～横展活動④～ 19/23

【スポットワーカーの方々に...】

タイミーや短期雇用の方々も取り残さない！！

導入教育で防災を取り入れるのはどう？

導入教育の見直し

関係部署連携学び

【導入教育改善】

各社に合わせた仕様でシートを作成

例：トヨタ・ブス

新規防災対策資料の追加

読み仮名・イラスト追加

【横展再実施】

仲間からのありがとう

分かりやすい！
ありがとう

私の目録での対策
ありがとう

信頼関係よし！

寄り添った横展に成功

また、誰一人も取り残さないという観点から、スポットワーカーの方々にも対策を実施。

キムラユニティ原さんから導入教育での防災取り入れ案をいただき、各社ごとの導入教育に合わせて資料作成を行いました。

横展再実施後には、協力会社さんから感謝の言葉をいただき

寄り添った横展に成功。最後までやりきり信頼関係の向上を実感することができました。

7. シナリオの実施 ～横展活動①～ 16/23

横展活動開始

私たちだけじゃない...
トヨタ約150人

被災の輪を広げていく！
協力会社約850人

大口センターは
1,000人が仲間

【ヒヤリング結果】

日本語だけでなく難しい

すぐに分かりにくい

インクルーシブ防災
誰一人取り残さない

【ヒヤリング結果】

寄り添えていなかった...

反省中

まだまだ！

上野サークルリーダー

緊急会合実施

多様性対応
インクルーシブ

最後までやりきること
信頼につなげる

横展完了!!

と思ったら...

対策実施は完了し、「これで活動もひと区切りだ」と考えていました。しかし改めて見渡した時、私たちの周りには協力会社の皆さまなど多くの仲間が働いていることに気がきました。そこで、「誰一人取り残さない防災」を目指し、被災の輪を広げるために横展活動を開始しました。当初は、ポスターや避難標識を展開すれば十分だと考えていました。しかし協力会社の皆さまへヒアリングを実施したところ、「日本語だけでは理解が難しい」「緊急時に瞬時に内容を理解できるか不安」といった意見が寄せられ実際には相手の立場で考え切れていなかったことに気がきました。そんな時、宮地組長から「本当に誰一人取り残さない対策になっているだろうか」という問い掛けをいただきました。その言葉を受けてメンバー全員で改めて話し合った結果、私たちが取り組んでいたのは「相手の立場に立った防災ではなかったと反省しました。防災とは設備を整えることだけではなく、年齢や経験、言語の違いに関係なく、誰もが同じように行動できる環境をつくることが重要です。つまり、「インクルーシブ防災」、上野サークルリーダーから「ここで終わらせず、最後までやり切ろう」の声で、私たちは再スタートを決意し、働いている皆さまに寄り添った追加対策へ取り組むことにしました。そしてこの経験を通じて、被災活動で本当に大切なことは、設備やルールではなく、「相手を思いやる視点」であることを学びました。

7. シナリオの実施 ～横展活動③～ 18/23

【避難標識追加対策】

瞬時に伝わらない・わかりにくい

非常口が表示側通りあるか不安

不安感をなくしパニック防止！

意見を考慮した対策に苦戦...

最短をイラスト表示？
パニック防止？
どうしよう

【ある日の休日】

高速道路のトンネル内に...

これだ！

伝わりやすくする方法は
イラストだけじゃない！

【対策内容】

距離が明確になり安心感につながる

左右に非常口までの距離を表示

対策案採用

最短

12m 10m

避難標識では不安感をなくせるような対策案を考えていたが

思うような案が浮かばずに苦戦し、悩んでいたある日、高速道路のトンネル内にて非常口までの距離が分かる避難標識を発見。

これだ！！と思いメンバーに相談、案を採用し、避難標識に非常口までの距離を追加しました。

距離の把握で安心感につながり、最短もわかりやすくなりました。

8. 効果の確認 20/23

【避難環境効果】

弱み：適切な屋外避難が行えない

対策後

適切な屋外避難が行える環境

【設備・資材効果】

弱み：非常時にすぐに使えない

対策後

非常時にすぐ使える仕様

【人的対応効果】

弱み：防災が他人事である

対策後

防災を自分事化できる職場

理解度アップ

理解している 36%

理解していない 64%

理解している 100%

理解していない

効果の確認。

避難環境では適切な屋外避難を行える環境に

設備・資材では防災用品をすぐ使える仕様に

人的対応では防災を自分事化できる職場にすることができました。

